

# 教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)  
 予約購読料 1年分 5,000円  
 紙代のみ 3,500円  
 振替 00140 9 145275  
 本紙を購読ご希望の方は、前金を  
 そえて、お近くのキリスト教書店  
 へお申し込み下さい。  
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
 日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546  
 FAX 03(3207)3918  
 発行人 内藤 留 幸  
 編集主筆 竹 澤 知 代 志  
 印刷所 株式会社きかんし



## ありがとう150年、つなごう200年、主とともに

### 福音に共にあずかる

プロテスタント日本伝道150年を記念する記念大会と信徒大会が11月22日・23日の両日開催された。両大会合わせて2500人を超える記録的な出席者となった。讃美の歌声は会場を揺るがし、大会はこれまでの150年間の主のご恩寵とお導きに感謝し、これを更なる福音宣教の機会として、200年に向けて伝道に奮起することを誓い合った。

150年記念信徒大会は、11月22日午後6時から東京山手教会で開催され、北海道から沖縄まで全国166教会から950人が出席した。4階から6階までの広い会堂も埋まり、2・3階ロビーのTV中継を見守る人も出た盛況で、讃美の歌声の熱気は、身震いを覚えるほどだった。

第1部開会礼拝で、福音に共にあずかる」と題して説教した山北宣久教団総会議長は、「日本におけるプロテスタント伝道は信徒の手によって切り開かれた」と150年に先立つて沖縄に渡来したベッテルハイム、



950名の参加者が東京山手教会を埋め尽くした

150年前のヘボン、シモンズ、フルベッキらが信徒だったと述べ、新約聖書の最初の殉教者は信徒のステファノだが、日本のプロテスタント伝道最初の殉教者も信徒の市川栄之助だった」と余り語られることのない日本人殉教者のエピソードから説き起こした。古本業を営んでいた市川は、来日したダニエル・グリーン宣教師の日本語の教師になったが、ヘボン訳の聖書を携行しているところを逮捕・投獄され、激しい拷問を受けて1年半後の1872年(明治5)11月、37歳の生涯を閉じた。

### いつまでも続く教会

第3部は交わり。まず地域の宣教の歴史の素顔」と題して5教会製作の映像が上演された。にじのいえと信仰の歩み、代々木中部教会、プロテスタント宣教師の地で今、新たに福音宣教が始まる。千葉北総伝道所、阿佐ヶ谷教会85年のアルバム、阿佐ヶ谷教会、エステラ・フィンチーその知られざる信仰の生涯、マザードオプロコス力顕彰会、いつまでも続く教会、経堂北教会。

地域の中で教会がどのようになっているか、大きく分けて来たかが分り勇気づけられた。米財閥カーネギーの養女となりながら、伝道のため来日し、40歳で日本に帰化し、関東大震災の翌年、横須賀市民として生涯を閉じたエステラ・フィンチーについては大いに啓発された。

続いて各教会1人の出席者が1分間スピーチ。突発的な所要でFAX参加となった東中国を含め、北海道から沖縄まで全国17教会の代表が、教会、個人、この内容は様々だったが、いずれも熱い心に溢れ、会場から大きな拍手を浴びた。



山北宣久教団議長による開会説教

の厳しさに耐えてなお、福音の種は時き続けられる。希望をもって皆々と種を時き続け、主のご委託に応えて行く。そうした人々によって伝道は担われて来たし、担われて行く。」

「国語辞典は『愛』で始まり、『腕力』で終わるが、神の世界は『愛』で始まり、『愛』、主イエスの復活の『愛』で完成する。『与えられ』、そうすれば与えられ、とのキリストの教えの

とおり、福音を伝えれば、福音にあずかるものとなれる。だから伝道は常に教会形成に向かう。福音に共にあずかる者となる」と山北議長は力強く結んだ。

第2部は、「イエス・キリストを証する」時代の証言者たち」の記念映像ベッテルハイム、ヘボン、シモンズ、フルベッキら宣教師、初期のミッション・スクール、教会、クラーク、クラークに学んだ内村鑑三、新渡戸稲造などの貴重な写真をちりばめて、150年の伝道の歴史を手際よくまとめている。15分間の短編だが、諸教会・教会などで用いられればと願う。



CS生徒中心の「いつまでも続く教会」合唱団

準備して来たもので、挨拶に立つた鈴木功男実行委員長は、「1年前の東京信徒会で持ち上がった話がここに結実した。150年に感謝すると共に、200年に繋ぐために奮起しよう」と力強く述べ、3時間に及んだ大会を締めくくった。

(永井清陽報)

次は、参加者が多かったこと。東京山手教会を950名が埋めつくした。主の集りが、満員止め」と言った人が居た。特に、沖縄から参加した7名には盛大な拍手が送られた。

第三は、皆が喜んでいただけ。信徒の交流が、教区内中心になっていたので、大きくなった輪は、旧き友人を見いだし、新しい交流を生んだ。時間を越えてお茶を楽しんだ。

「一に伝道、二に伝道、三、四がなくて、五に伝道」昔の教会が掲げた思いが、お互いの心を燃やした。

(小林貞夫日本伝道150年記念行事準備委員長)





# キリストこそ我が救い

## 日本基督教団日本伝道 150 年記念大会

日本基督教団日本伝道 150 年記念大会が、11 月 23 日(月) 青山学院講堂を会場に、キリストこそ我が救い』の主題のもと開催された。出席者は、約 1500 名、聖歌隊等を加えると 600 名、日本伝道の歴史に大きな印を刻む集会となった。「不振・低迷が指摘される日本伝道が新しい時代を切り開く分岐点となるのではないかと、準備委員の一人がもたした。そのような期待を抱かされる熱気が会場に溢れていた。

1600 名による讃美、そして日本基督教団信仰告白は、単に人数が多いと言っただけではなく、御言葉に出会い慰めと励ましを受けた者の、圧倒的な迫力をもつて歌われ、唱和され、更に会衆互いの心を揺り動かした。

と題した記念映像を観て、150 年の歩みを支えた先達たちに思いを向けさせられた。次は、橋本徹氏(国際基督教大学理事長、聖ヶ丘教会員、元富士銀行頭取)の講演「伝道における信徒の役割」を聴いた。氏は 50 分の講演の前半で、郷里・母教会である岡山県高梁の伝道の歴史を述べ、そこで働いた人々、大きな影響を与えた指導者たちを数え上げた。後半は、その土地・教会で育まれた自分の信仰について語った。淡々と語り口にも、郷里、教会、人々への熱い思いが伝わった。一つの伝道が拓かれた、教会が建てられ、そして 100 年を越えて歴史が積み上げられる時、そこには多くの人々の信仰生活が織り込まれる。奇跡とも見える出来事が重なられ、それ

して今、橋本徹という一人の信仰者にながっているのだということを感じた。十字架の前に引き立てられた。時に「遺言」を口にし、涙を滲ませて語った。最前列の椅子席から身を乗り出して聞き入る山北議長に、伝道の幻、教会の未来を訴え、託するかのようになされた。

佐々木美知夫教団副議長のリードのもとに、公同教会の信仰を表白し、別記 5 項目の、信仰の根本の根本が、大会宣言として会衆一同によって唱和された。大杉弘常議員他 2 名の祈祷、会衆一同の祈りをもち、感動に満ちた大会は閉じられた。

山の種がある。伝道は多くが失敗に終わるかも知れない。しかし、芽を出す種もある」と、ここで「愚かな手段による伝道」について述べた。

取り分け、嵐に漕ぎ進む弟子たちの小舟と、私たちの教団の姿を重ねて、嵐の中、逆風を突いて進み、ために漕ぎ進むのが伝道だ。伝道に失敗してこそ、そこでキリストに出会うのだ」と大胆に語り、慰めと励ましを与えた。

「北陸伝道のはじまり」と題して講演した梅染氏は、北陸伝道の「二人の恩人」として、トマス・ウィンとダンエル・マッケンジーの二人の宣教師の働きを紹介した。

必要性を説き、さらに一人ひとりが伝道の業に参加する道を具体的に示した。最後に、伝道する教会はまず、伝道の主体である神を、あがめ、神は再び教会員を各地に派遣して伝道の果実を刈り取らせる。この健やかな循環が日本伝道を導く」と力強く結んだ。

また、講演の合間には、北陸学院大学ハンドベルリナガーズや石川地区婦人有志によるシャロン・クワイヤによる讃美もさざげられ、北陸の諸教会と学校全体で 150 年を記念し、主の伝道命令に込める決意を新たにするとした。



セムナン教会イエボン讃美隊

プロテスタント日本伝道 150 年北陸のつどいが、11 月 2 日夜、金沢教会で開かれた。これは、中部教区の北陸側の教会と北陸学院で実行委員会(横井伸夫委員長)を作って準備し献金をささげ、中部教区も支援して開かれたもの。冷たい雨のなか富山、石川、福井の三県の諸教会から 152 人が参加した。

つどいでは、梅染信夫氏(北陸学院大学講師)と関川泰寛氏(東京神学大学教授)が講演した。

「北陸伝道のはじまり」と題して講演した梅染氏は、北陸伝道の「二人の恩人」として、トマス・ウィンとダンエル・マッケンジーの二人の宣教師の働きを紹介した。

必要性を説き、さらに一人ひとりが伝道の業に参加する道を具体的に示した。最後に、伝道する教会はまず、伝道の主体である神を、あがめ、神は再び教会員を各地に派遣して伝道の果実を刈り取らせる。この健やかな循環が日本伝道を導く」と力強く結んだ。



冷たい雨の中、北陸 3 県から金沢教会に集い

### 過去から未来へと私たちが接続させる

#### プロテスタント日本伝道 150 年「北陸のつどい」

( 勇文人報 )



# 世界に開く教団の目と耳となつて

## 第3回世界宣教委

第36総会期第3回世界宣教委が10月30日、教団事務局を訪れる世界各地からの訪問者、各地に派遣されている宣教師について報告や対応すべき状況、国内で活躍している宣教師の受け入れや働きについて報告、それに加えて6つの関係委員会の報告など、世界に開かれていく教団の目と耳となつて、そこで動いている人と出来事について適確な判断と行動が求められる。



適確な判断と行動が求められる

今回、報告された事柄の中で、日本が開催国となるため準備を進めている韓国・スイス・日本の三國間協議会開催について、予定された日程を延期し2011年7月開催に向けて調整中であること、韓国協約委員会からは、宣教協約を結んでいる韓国三教団を9月に訪問したこと(新報4685号に既報)などが報告された。また、日本伝道150年記念行事のために来賓として、

主な協議事項としては、パンデバーク宣教師の帰国により欠員になってきた宣教師支援委員会の委員としてネイサン・ブラウネル宣教師を充てること、? パンクパー・日系人合同教会より宣教師派遣の要請があり、教団新報で公募し、12

### 東京 東京教区の連帯金 留保問題

長崎哲夫

東京教区総会が、二〇〇九年度教区活動連帯金の納付を留保する」を決議したことについては、多くの批判がある。それは十分聞くとしても、東京教団17教区との「主にある真の連帯と共闘」を願っているものであることに些かも変わりはない。何故我々がそう言うのか。1994年第52回東京教区総会が着させた三里塚教会問題を、一部常議員や他教区が常議員会等

### 教区 コラム

「教団とは一定の距離を置く」と意味不明なことを言う沖繩教区が、教団一般会計の沖繩宣教連帯金や教区活動連帯金は、何も言わずに受け取っている事実。1995年1月17日の阪神淡路大震災の第2次募金等、兵庫教区がその会計報告を今だ明らかにせず、数千円以上の教団財政を曖昧にさせている等が理由である。は、他教区の決議をどうしようとするのか。それを誰もが直接

の問合せ無しにだ。正に、予断と偏見は直ちに止めるべきだ。は、しかし沖繩は、教団負担金は納めていると他からの文句。聞けば、毎年度教団財務がそれと、宣教連帯金と教区活動連帯金とで相殺しているんだと。諸教会の献金であるべき教区負担金の、そんな扱い方も無からうに。は、兵庫の誰がそうさせているのか。問題提起をよくする人たちも見て見ぬふりだ。これこそ批判されるべきではないか。それらの解決無しに、東京は現状復帰しようにも出来ぬのが現状だ。(東京教区総会議長)

月11日担任委員会において応募者の面接をしたうえ推薦することにしたこと、前総会期委員会より今会期中にカナダ・ドイツへの退任宣教師訪問ツアーを実施するようとのことで、今年10月中に実施の予定であったが、日本伝道150年記念の行事、スイス・韓国・日本三國協議会などの日程のことを考慮し、今会期中に行うことは無理であると判断し、この計画は中止することにしました。

カナダ、ドイツともに熱く期待している退任宣教師がいるので、次期委員会に最優先事項として再度計画することを提案することとした。(秋山徹報)

### 2009年度全国教会学校クリスマス献金のお願い

日本基督教団教育委員会委員長 黒田若雄

クリスマスを迎えるにあたり、主の恵みのもと、宣教の業に励んでおられることと思います。わたしたちは「みんなで生きよう」との主題のもと、世界と日本で子どもたちと共に生き、喜びと苦しみを一緒にしようと、多くの子どもたちの協力を得てクリスマス献金をささげてきました。今年には以下のような計画を立てました。ご協力をお願いいたします。

《募金計画》

- ◆主 題：「みんなで生きよう インド『アーシャピディアレ』(希望学校)のおともだちと共に、アフガニスタンのおともだちと共に、日本聾話学校のおともだちと共に、鳥取子ども学園のおともだちと共に、教会の子どもたちと共に(教会学校応援セット)」
- ◆献 金 先：アーシャピディアレ(インド・アラハバード)、NPO『燈台』アフガン難民救援協力金、日本聾話学校、鳥取子ども学園
- ◆献金目標：1,200万円
- ◆期 間：2009年12月1日? 2010年3月31日
- ◆送 金 先：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31 日本基督教団教育委員会 クリスマス献金係 振替「00150-8-27638」 03-3202-0544

### 社会事業奨励日メッセージ

日本における社会福祉の根拠となるものは日本国憲法第25条です。「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」

また「福祉六法」と呼ばれる法が定められており、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法があります。それに老人保健法と社会福祉法を加えて「福祉八法」と呼ぶこともありま

すが、憲法に基づいて社会福祉を支えるものとなつています。社会福祉事業は、社会福祉法2条で定められていて、その内容は多岐にわたり、細部にいたるまで触れられています。ところがそのような中でも、社会福祉事業にすべての人々が満足しているわけではありませぬ。様々な分野に目が届き、行政の支援もあるが、それが必要なレベルに達していません。制度は整っていても心がこもっていません。個別の福祉内容や個別の施設について、いつも不満が存在します。その不満がたとえ全体の中では少数であっても、その制度や施設を利用

する人々にとっては重大なことです。社会福祉事業にたずさわる者にとっては、日々改善の努力をしていくことが課題です。

日本基督教団は、社会活動基本方針に「教会と社会福祉事業との相互理解と協力を推進する」と謳い、12月1日曜日を「キリスト教社会事業を覚えて祈る日」と定めています。十分に光の当たっていないところには、さらに光を当てようとして、わたしたちの仲間がいます。継続が大事な福祉を、心をこめてこれからも続けようという努力している仲間がいます。特に心のこもった福祉を实践しようという心がけをわたしたちの日本社会に

社会福祉が体系的に入ってきたのは、プロテスタントのキリスト教が伝えられてからでした。また、心のこもった福祉を实践しようという心がけも、キリスト教社会福祉事業でした。祈りをあわせて、支えたいと願っています。

2009年12月6日

第36総会期日本基督教団社会委員会委員 釜士達雄

### お知らせ

「教師検定試験受験の手引き」が出来ました。これまでのCコースの手引書を大幅に改訂し、補教師試験AB受験者、正教師試験受験者も対象としました。一冊2000円です。問い合わせは、電話03-3202-210546、教師検定委員会までお願いします。

### 事務局報

教師異動  
福岡文学院大学 辞教村元太郎  
宮田 就主村元太郎  
大月新生 就担船戸良隆  
遺愛女子中学・高校 辞教坂本あり  
富坂キリスト教センター 就教岡田仁  
茅ヶ崎香川辞主船窪 健  
" 就代西田直樹  
香美 就代野村義和  
" 就主野村義和  
出町 就主佐野治  
" 就代小宮山剛  
教師隠退  
多芸正之吉岡誠人  
教師改姓  
河口あり 坂本あり  
教会通信先変更  
三芳 逗子市山根3-2-1  
8 中山様方  
伝道所所在地変更  
調布柴崎 調布市布田4-7-18-103  
教会合併  
大館・花輪教会名・大館(お詫び・訂正  
4685号の訂正・お詫び欄のお名前、「小栗善忠」は「小栗善忠」(2箇所)に、お詫びして訂正いたします。

能登半島地震被災教会支援募金にご協力お願いします

主イエス・キリストの御降誕のとき、能登半島地震被災教会を覚えて共に祈りください

◎送金先：加入者名  
能登半島地震被災教会支援募金  
◎郵便振替  
00140-8-706607  
「能登半島地震」被災教会堂等再建支援委員会  
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
TEL03-3202-0541 FAX03-3207-3918  
MAIL somu-b@uccj.org



# 献身のとき

NOOSHIN  
KENSHIN  
I  
TOKI

No.10

## 執り成しの祈りと献身

白 正 煥 (用賀教会牧師)

牧師になって間もなくのことであつた。夏休みを利用して韓国に一時帰省していたとき、姉からこつこつ話を聞いた。

1970年代前半、私が幼児期を過ごしていた故郷はまだ電気が入っていない山村であつた。父は末娘がまだ生まれて間もない時、病で亡くなり、母一人で農業をしながら5人の子どもたちを育てていた。その家に一人の女性の親戚が泊まりに来た。彼女はキリスト者であつた。翌朝、姉が目覚ましたら、その親戚は一つの部屋で雑魚寝していた子どもたちを見ながら涙声で執り成しの祈りを祈っていた。この家族に日用の糧を与えてください、またこの子どもたちの中から主の僕が生まれましますように、と。

姉は牧師になつた私の姿を見て、長年忘れていたあの時の情景がふと浮かんで来たのであつた。

私が自らの言葉で献身の祈りを献げたのは高校2年生の冬休みの時であつた。高校生会のリーダーをしていた私は、指導先生の助言もあつて、同学年の仲間たちとほぼ毎週、土曜日の夜に教会で祈禱会を持っていた。そんなある日の

祈禱会、その時もうつもと変わらず、それぞれの祈禱主題を出し合い、それを皆で祈った後、個々人の自由な祈りの時に入つた。教育館の片隅の方に移動し、友だちには聞こえないように小さな声で祈っていた。その祈りの中で私は自分の口から出る言葉にびくつき、祈禱を中断した。自分の口から献身の言葉を祈りとして献げていたからである。それまで教会生活には熱心だったけど、献身して伝道者となることは一度も考えたことがなかつた。そんな自分が何でこつこつ祈りをしてしているのか、全く不思議であり、驚きであつた。しかし、その日以来、「献身」という思いは片時も心から離れることはなかつた。

「白さんは日本が宣教地ですよ。そのために祈っていますから」という言葉を聞くようになったのは、日本に来て2年ほど経つた時からであつた。当時通つていた韓国人たちが集まる教会で、そう言われた。何人かの人からしばしば、でも私の心の中では、「日本」という国において伝道者となる思いは一切なかつた。

そもそも日本に来るきっかけになつたのは、私の父母が日本で出会つて結婚し、韓国に渡つたこと、在日韓国人であつた母の美家が日本であり、幼い時から日本にいる叔父たちとの交流を通して、「日本」に対する漠然とした憧憬があつたからである。しかし、いざ日本での生活を始めた私は2年が経つ頃には日本に對

する愛着を殆ど失つていた。そんな私にとっては日本で伝道者となるのは考えもしなかつたことであつた。当然、周囲の人々が「日本が宣教地ですよ」といふ言葉も心に響いて来なかつた。この「日本」といふ国と、「日本人」といふ国民を愛する心がなかつたからである。そんな私がいつからか分らないが、周囲の人々の煩きもあつて、神様の御心が「日本」であるならば、愛する心を与えてください、それがなければできませんと祈るようになっていた。そして韓国ではノクリスチャンであつた家族の反対でできなかった神学校の入学が日本で叶えられた。

韓国のキリスト者はよく祈ると言われている。言われている通りである。しかし、その祈りは大半が執り成しの祈りである。自分のことも祈るが、執り成しの祈りが圧倒的に多い。私の場合、自分の口で献身の祈りを献げる十数年も前に、愛する親族を思い、心から祈つてくれた一人のキリスト者がいた。日本で伝道者として歩むようになった背後にも執り成しの祈りがあることは言うまでもない。



09年8月箱根にて家族と一緒に

### 出版局ニュース

http://www.bpc.or.jp

★新刊から  
『キリストこそ我が救いー日本伝道150年の歩み』  
日本基督教団日本伝道一五〇年記念行事準備委員会編 1959年の宣教100年から50年間を教団はどう歩んだのか。日本伝道に大きな足跡を刻むキリスト教学校と社会福祉事業の歩みとは。歴史を振り返り、日本伝道200年に向かつて進むべき道を探る。  
\*2730円

『ハガルとサラ、その子どもたちーユダヤ教、キリスト教、イスラム教の対話への道』Ph・トリプル／L・M・ラッセル編著 川久子訳 ハガルとサラ、そしてイサクとイシユマエルの物語を、聖書学、ユダヤ教、イスラム教、教父学などの立場から考察。フェミニストの視点で、三宗教間の相互理解と調和への道を模索。\*6300円

CD『ガリラヤの風が吹く丘でー菅英三子「讃美歌21」を歌う』ソフノ／菅英三子 伴奏／オルガン・今井奈緒子他 宗教曲やオペラに国際的に活躍するソフノ歌手が心を込めて歌うソングアルバム。歌い継がれてきた讃美歌、現代の讃美歌などポピュラーな讃美歌で献げる、神への静謐な感謝の祈り。\*2940円

★好評発売中  
CD付ブック『三浦綾子ー信仰と文学』三浦綾子著 (TOMOセレクト) 40年 にわたり「信徒の友」に寄

せられた記事を精選・再録講演CD付。没後10年企画 \*1890円

CD付ブック『そして僕は、今日も歌おう。陣内大蔵』著・歌 ミュージシャンに

して牧師の著者の心温まるエッセイと演奏。アメリカング・グレース他5曲を収録。\*2100円

クリスマス絵本『パプーシユカのおくりもの』サントラ・アン・ホーン文／ソフィー・ファタール絵 さわともえ訳 パプーシユカはやさしいおばあさん。新しい王様の誕生の祝いに贈り物を持って出かけたのですが…… \*1575円

『さんびかものがたり』この聖夜夜にーアドヴェン

トとクリスマスの歌『川端純四郎』著 誰しもが口ずさむクリスマス讃美歌に秘められた、知られざるエピソード。\*2520円

★12月上旬発売予定  
PCソフト『ナルドの壺ー便利な教会会計ソフト』

教会で実際に使用しながら開発された教会会計専用ソフト。会計全般、献金、教

員名簿、出席管理などの他、教団提出用C表も自動作成。エクセル搭載パソコンで動作 (WindowsXP、Vista7対応。Mac非対応)。\*21,000円 (初期サポート希望の場合は別途10,500円)。(注)文

は、直接出版局営業課へ。(03-3204-0422)

★委託出版のご案内  
エッセイ集、説教集などの制作を承っております。ご相談は出版局総務課へ。

【価格は税込です】

# ひととき

## 大橋 祐治さん

1934年生まれ。75歳。非暴力平和隊・日本理事。富士見丘教会員。CS校長。左ノ教会学校の子もたち



## 神の子と呼ばれる道

私の第2の人生に神は2つのことを備えて下さった。一つは教会生活に戻る道、もう一つは平和へのやさやかな貢献である。

私は3代目のクリスチャンとして、高校2年の時、親友の牧師の子息と一緒に受洗した。しかし、社会人となってからは教会生活から足が遠のき、バスタウンをはじめ海外生活の合間に一時帰国で帰郷の際、「教会に行きなさい」と優しく諭す母の親孝行として、母の背を押して教会に行く程度であった。

1989年、母が召天した時、私はシカゴに赴任していた。たまたま当地で開催されたギデオンの国際大会に、父は母の遺影を持って参加した。母の死はいわば突然であつたのに、父は「神のなされたいことは皆その時になつて美しい」と言つて神を賛美した。この時の私は父の気持を理解することができなかったが、今は漸く両親の信仰を継承しているとの自覚を持っている。

『平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。』

の聖句は実に涙が出るほどに有難い御言葉である。神がそう呼んで下さる。人にそう呼ばれるか否かはさて重要ではない。生涯を平和活動に捧げたあるクリスチャンの言葉である。私は8年前に、国際NGO「NONVIOLENT PACE FORCE」(非暴力平和隊)に先立ち、日本で設立された「非暴力平和隊・日本」の創立メンバーとなった。

非暴力活動は、ガンディーの「平和隊」の理念を引き継ぎ、アメリカでキング牧師の公民権運動を支えた理念である。非暴力平和隊は更に、政治的立場を取らないとの理念を持つ。和解による紛争の防止と解決に徹し、紛争地域の非暴力平和活動家を支援する。現在、スリランカとミャンマーで活動中である。

非暴力平和隊のメンバーにはキリスト者が多い。勿論、日本では仏教徒もいるが、非暴力で平和を実現しようという目標で皆が結ばれている。非暴力平和の実現への道は、主イエスの教えられた道である。私は、祈りつつ、この道を歩み続けたい。

「エミちゃんも、今度から礼拝当番、やってね」と言つと、いつものように笑顔で頷いてくれた。知的障害があるエミちゃんは、3年前に受洗した。毎週の礼拝に出席しており、教会の一員になつてもらいましょつと役員会で承認したのである。教会に出席する前は、教員が運営するグループホームに入居していた。教会から離れており、礼拝に出席できなかったが、牧師が何かと訪問していたので、神様にお祈りする姿勢は持っていた。そのグループホームが閉鎖されたので、教会の近くにある受付と席上献金を担当する。順次

## 礼拝当番一考

3年前に教員になつて以来、礼拝当番から外していたことに反省を持ち、今までお当番をお願いしないで、「ごめんね」と詫言る。例によって笑顔で頷いた。

(教団書記 鈴木伸治)